（別紙4（2））

事業所名：グループホームはっぴーらいふ

作成日：　令和　6　　年　1　　月　　5　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害・感染対策について、より現状に沿った訓練の想定がまだまだ不十分。増加する災害、感染に対し早急な対策が必要。	様々な災害、感染が起きた時でも冷静に対処できるようにする。	・法人ないでの定期的な防災、感染対策に関する研修等を積極的に実施。訓練の際にはよりリアルな想定で発災時にも応用できるような訓練を行う。 ・災害時の緊急時連絡網、具体的な備蓄品の整備 ・回覧板や運営推進会議、地区の防災会議などを活用し情報共有、地域とのつながりを構築していく。	12ヶ月
2	49	外出支援行事活動について コロナが5類に移行した今でも、現状思うような外出支援や行事活動が行えていない。	現状の感染対策を行いつつ、緩和に向けた対策を行った上で状況に応じた外出支援、行事活動が行える。	・ご家族からの外出、外泊支援。地域で行われる行事への参加等、感染対策を仰ぐ。 ・日頃からご家族、地域の方との情報共有が出来るように努めていく。	6ヶ月
3	23.3	各利用者のニーズ、その方の能力に応じたケアの実践。	各スタッフのアセスメント能力が向上し、各利用者について深く理解し充実したケアを提供できる。	・各利用者の日頃の会話やかかわりの中で一人一人のレベルを見極め、状況に応じたケアを実践できるようにする。 ・内外研修等に参加し、各スタッフのレベルアップ、自己研鑽に努める。	6ヶ月
4	12	スタッフが働きやすい環境づくり、業務改善。	限られた環境（人、時間）の中でも効率よく、協力しながら働きやすい環境を整える。	・定期的に業務の見直しを行う等、働きやすい環境づくりに努める。 ・スタッフ一人一人にゆとり、余裕を持つことで、利用者へ質の高い安心できる認知症ケアが提供できる。	6ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。